

論点整理のイメージについて

- 全体構成についても、第1部～第4部のそれぞれの論点内容についても comprehensive で、よくまとめられていると感じます。
- 敢えて意見を申し上げますとすれば、2点です。
 - ・一つは、第2部の「基本的な考え方」で挙げられていますが、投資のプライオリティについてです。何が重要か、重要でないかについて投資項目毎に定量的な判断を示すところまで踏み込んで示すことができればより現実味が増すと思われます。例えば、投資項目毎に昨年度対+〇%とか-〇%という具合です。第2部の(2)「選択と集中」の強化についても共通して言えることだと思いますが、定量的な判断を示さなければ考え方や理念が具体的な形で現実の行政に反映されにくくなってしまいうという懸念からです。その意味で、投資を削るものや投資を止めるものの削減額の一覧表を作成するのもインパクトがあると思います。
 - ・二つ目は、公共の利益と私的財産権のバランスについての言及を入れて頂きたいという点です。第2部の(2)で挙げている「スピーディーなサービス提供」を実現するためにも、第3部の(3)で挙げている「遅れている大都市圏の環状道路整備」のためにも、土地収用についての迅速化は欠かせません。道路行政に対する住民、国民の意見を聞くことについてはPIの推進はじめ様々な施策が進められていますが、土地収用に関する基本的スタンスの改革がなければ大きな成果は見込めません。ゴネ得や反社会的妨害を許してはならないのはもちろんですが、計画が遅れることの社会コストを考えると、公共の利益と私権のバランスの判断自体を変えていくべきだと思います。財政制約や選択と集中による効率的事業推進が求められる今だからこそ、このテーマにも取り組んでいくべきだと考えます。